

令和2年2月12日

【研究題目】脳血管から回収した血栓の研究

【研究の目的・意義】脳の血管に血栓が詰まることで脳梗塞が生じます。近年、カテーテルを用いてこの血栓を取り除く治療が可能になりましたが、まだ再開通がうまくいかない場合もあります。そこで、脳血管から回収した血栓の性状と患者さんの状態や治療の結果を調べることで、血栓の形成を予防したり、より効率的に再開通を得られる方法を検討します。

【研究に用いる情報の種類】病歴、検査結果、治療経過、画像情報、予後

【研究に用いる試料】回収した血栓の標本

【研究期間】研究機関の長の許可日～2022年3月31日まで

【研究の方法】通常の医療において取得された診療情報（既存情報）および血栓の標本（既存試料）を集め、病理組織学的および統計学的手法を用いて解析します。

【研究機関】

大阪大学大学院医学系研究科 神経内科学 責任者：藤堂謙一（研究代表者）

大阪急性期・総合医療センター 脳神経内科 責任者：坂口学

川崎医科大学 脳卒中医学 責任者：八木田佳樹

【対象となる方】2015年1月1日から2019年12月31日までに脳卒中を発症し、大阪大学医学部附属病院および共同研究施設で脳血栓回収術を受けた患者さん

【個人情報の取り扱い】個人を同定できる情報を削除し、匿名化を行います。学会、論文発表の際にも、個人を同定できる情報が出ることはありません。この研究について、さらに詳しい内容を知りたい場合や今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください

【問い合わせ先】

大阪急性期・総合医療センター脳神経内科

研究責任者：坂口 学 / 職名：主任部長

電話番号：06-6692-1201(代表)